

2024年6月10日

報道関係者各位

一般社団法人日本子育て制度機構
理事長 浜辺 拓臣

2023年度ベスト育児制度賞発表・表彰式のご案内

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年7月19日、一般社団法人日本子育て制度機構は、全国の優秀な子育て支援制度を表彰する「第7回 2023年度 ベスト育児制度賞」を大阪市内で開催します。つきましては万障お繰り合わせの上、ご参席・ご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

今年度より、社会問題解決の一助となるべく、賞のリニューアルを行いました。少子化対策部門賞、孤立・困難抑止部門賞、期待の新制度部門賞の3賞と、最優秀制度賞を定め、審査員より厳正に選び抜かれた合計4つの制度を表彰させていただきます。

ベスト育児制度賞は、「全国の地域で広がってほしい制度」であることを重視しています。今回、授賞される方々は、先進的な取り組みを行われている自治体や、自主的に活動を始められている当事者の方々です。それぞれの独自でユニークな取り組みを、ぜひ取材いただき、この取り組みを子育て世帯の皆さんや支援をされている方々に広く発信していただければ幸いです。

表彰式にご出席いただける場合、お手数ですが、下記の連絡先にご連絡いただければと存じます。皆様方のご来場を心よりお待ちしております。

(一社) 日本子育て制度機構 ベスト育児制度賞担当：安木・土田

mail：info@ikuhaku.com Tel：06-6282-7815（平日10時～16時）

ベスト育児制度賞について <https://www.ikuhaku.com/best/>

-----記-----

2023年度ベスト育児制度賞表彰式

日時： 2024年7月19日(金) 14時～(13時30分受付開始)

開催場所： 大阪府男女共同参画センター特別会議室（大阪府中央区大手前1-3-49）
地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m

【当日参加される受賞者の方々】

●2023 年度 最優秀制度賞

受賞制度名	在日外国人ママの産前産後サポート
受賞団体名	特定非営利活動法人 Mother's Tree Japan（民間）
サイト	https://mothers-tree-japan.org/
概要	「国籍に関係なく、同じ国にクラスすべての女性が安心して新しい命を迎えてほしい」という思いから、言語・文化・宗教・風習への理解に基づいたサポートを在住外国人ママが受けられるよう支援しています。特に日本でのお産経験のある先輩ママが寄り添うことで心身共に安心して出産を迎えられるようなサポートをしています。
所在地	東京都豊島区

●2023 年度 少子化対策部門賞

受賞制度名	夫婦の向き合い方を学ぶすごろくのボードゲーム「サンゴクエスト」
受賞団体名	サンゴクエスト開発チーム（民間）
サイト	https://sangoquest.com/
概要	人生で初めての妊娠、出産、そして迎える激動の産後期。パートナーとの対話を重ねてそれらの時期を乗り越え、1人でも多くの人に子育ての楽しさを実感してほしい。そんな思いを持つ多様なメンバーが集まって開発したボードゲームです。2023年6月にリリースし、認定ファシリテーター研修も定期的で開催しています。
所在地	京都府京都市

●2023 年度 孤立・困難抑止部門賞

受賞制度名	医療ケア児の家族向けキャンプガイドブック
受賞団体名	一般社団法人 Burano（民間）
サイト	https://burano.or.jp/
概要	難病などで外出する際に人工呼吸器などが必要な「医療的ケア児」と家族が全国各地にいても気軽にキャンプができる社会となるように、医療的ケア児の家族のキャンプ経験をガイドブックとポータルサイトにまとめて発信するプロジェクト
実施地域	茨城県古河市

●2023 年度 期待の新制度部門賞

受賞制度名	隣の学校との合同授業 山県方式
受賞団体名	山県市教育委員会（行政）
サイト	https://www.city.yamagata.gifu.jp/

概要	学校を存続させたまま、お互いの学校をスクールバスを利用し、児童生徒が行き来する。市内全 12 校を「山県学園」とし、学習内容によって、どの学校との合同授業も可能にする新しい教育の仕組みであり、統廃合は行わない方向を選択した珍しい取り組みです。
実施地域	岐阜県山県市

【当日参加される審査員の方々】

関西大学 人間健康学部教授 山縣文治 教授

児童虐待防止機構オレンジ CAPO 島田妙子 氏

※やむを得ず、出席者の変更や中止することがございます。ご容赦ください。

【ベスト育児制度賞について】

ベスト育児制度賞とは、日本子育て制度機構が全国の地域の子育て支援制度や取り組みの活性化のきっかけとなることを趣旨として実施しているものです。どの地域や団体でも実施が可能と思われる子育て支援制度の中から、少子化対策に期待される制度、子育て世帯の孤立・困難抑止が期待される制度、斬新さを持ち今後の発展が期待される制度の 3 部門を選定し、得点が 1 番高かったものを最優秀制度賞として毎年 1 回表彰していきます。

【選考基準】

全国に広がって欲しい

- 少子化対策になると思われるもの
- 孤立・困難に直面する抑止になると思われるもの
- アイデア・創意工夫・着目点が秀逸であるもの

【4つの賞】

- 2023 年度 最優秀制度賞
最もたくさんの方に知っていただき、地域で実施していただきたい制度
- 2023 年度 育児制度賞（少子化対策部門）
少子化の時代に、子どもを産みやすい環境作りの手助けとなると期待される制度。
- 2023 年度 育児制度賞（孤立・困難抑止部門）
親や子において孤立させない、困難を事前に防ぐ点で効果的であると期待される制度。
- 2023 年度 育児制度賞（期待の新制度部門）
斬新さを持ち、今後の発展が期待される制度

【過去の授賞式の様子】



2018年度ベスト育児制度賞授賞式

2019年9月児童虐待死防止活動「ゼロ会議」内にて行う。明石市泉市長（当時）が列席。

東近江市「おむつ宅配便」

明石市「あかし里親100パーセントプロジェクト」などが受賞。



2020年度ベスト育児制度賞授賞式(2021年9月17日 YOLOBASE)

2020年度ベスト育児制度賞授賞式

2021年9月児童虐待死防止活動「ゼロ会議」内にて行う。(2019年度は中止)

コロナ禍においてスピーディーに高校三年生等の若者応援給付金の支給を行った茨木市などが受賞。



2021年度イクハクベスト育児制度賞表彰式 2022年9月22日

2021年度ベスト育児制度賞授賞式

2022年9月 大阪府男女共同参画センター特別会議室にて。

独自の奨学金の給付を行っている「一般財団法人コープこうべ奨学金財団」などが受賞。



2022年度ベスト育児制度賞授賞式

赤ちゃんを亡くした親へのサポートや子どもの発達障害に対する理解を勤務先で広げておられる取り組みを行っている団体などを表彰いたしました。

2022年度までは関西圏の受賞者の方には出席いただいていた。